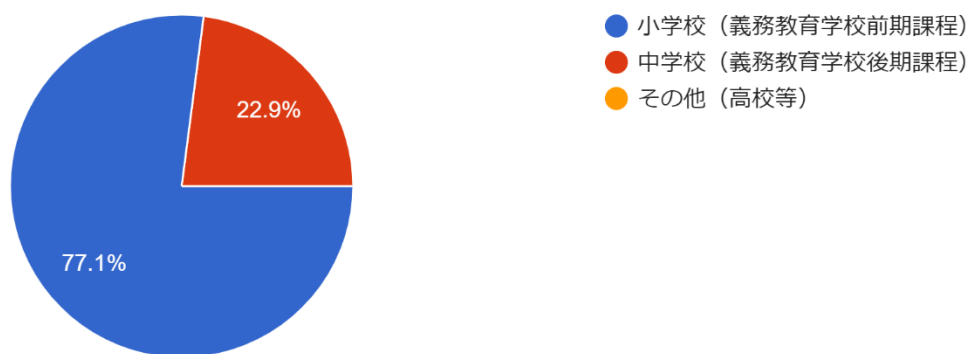
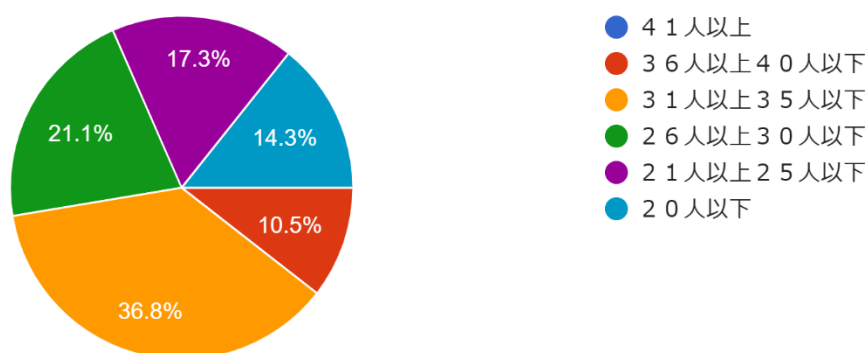


令和3年度 岐学組アンケート結果

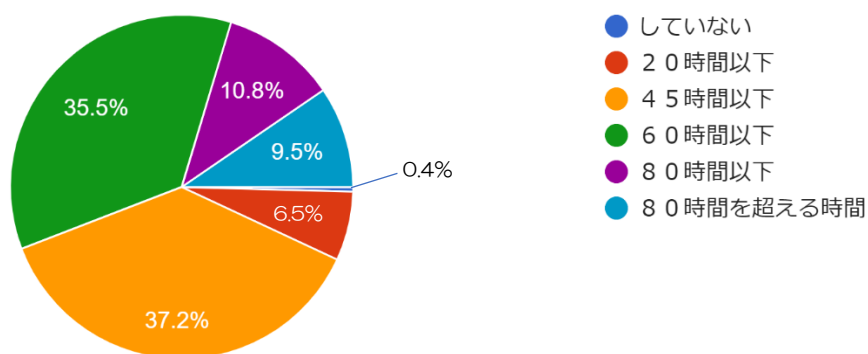
①校種を選んでください。



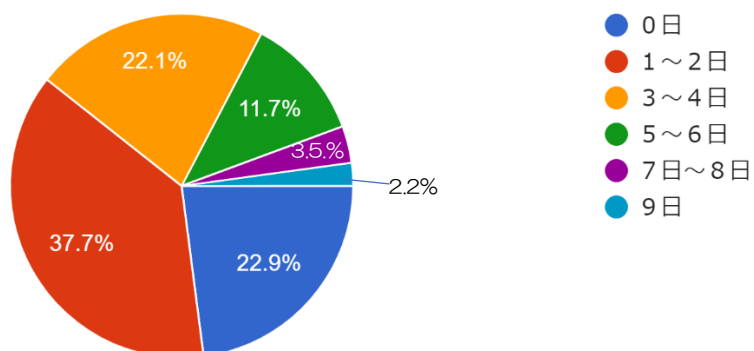
②（通常学級を担任している方のみ）学級の児童生徒数は何人ですか。



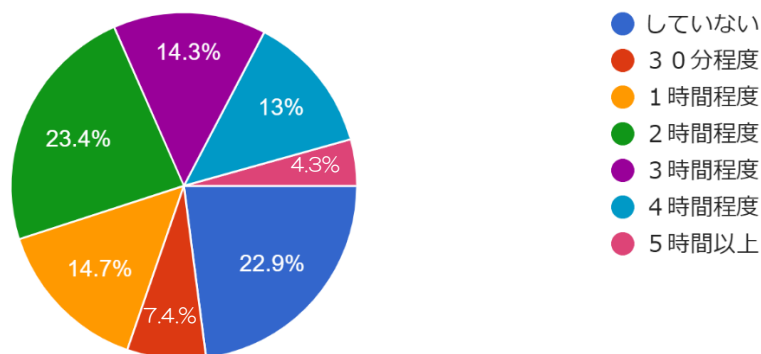
③勤務時間外に月平均でどれくらいの時間勤務しましたか。（土日を含む）



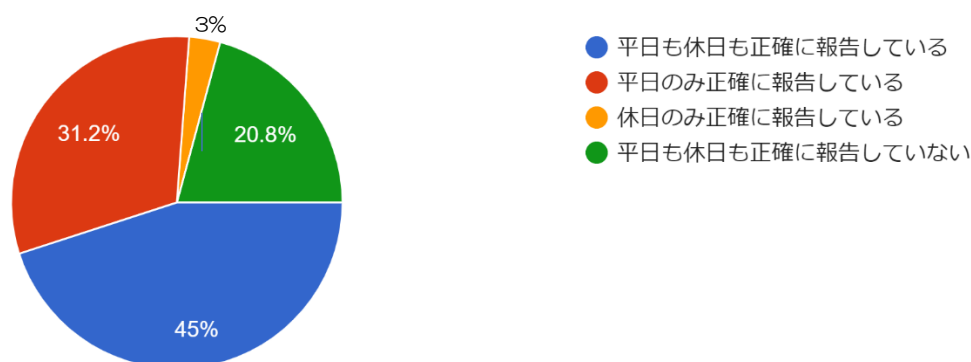
④休業日（土日祝日）が1か月に平均9日あるとして、仕事（部活動や行事の引率を含む）をした日は何日ありますか。



⑤休日において、平均して1日どれくらいの時間勤務（部活動や行事の引率含む）しましたか。



⑥時間外勤務について、正確に報告していますか。



⑦⑥で「平日も休日も正確に報告している」以外を選択した方はその理由を教えてください。

休日はシステムを立ち上げていないから。

あまりに時間外勤務が長いと指導が入るため。

休日分は、人に会わない時間帯で仕事をしたため、報告する気持ちが湧かなかったため。

休日の勤務については問われないから

仕事はあるけれど、勤務時間を減らすように言われるから

1ヶ月の時間外勤務が45時間以上又は60時間以上超えると、文書による報告義務があり、かえって仕事が増えるため。

管理職は数字上の削減ばかり気にして、根本的な仕事量の削減に動き出せていないから。

正確に報告すると、80時間を越えてしまうから。

時間外勤務が増えることで、上席の先生に迷惑がかかるから。

仕事が終わらず、やむを得ず時間が伸びたり、自宅に持ち帰って仕事をしていることがあるため。

要領が悪いと思われるから

管理職の先生に迷惑をかけたくないから。面談をする時間をもったいないから。

土日を加えると100時間を越えてしまうから

休日の出勤は、勤務しているように感じないから。

時間外労働する事がよしとされていないから

校庭の雑草除去など、環境整備だか、勤務とは直接違う作業なので、報告しづらい

管理職から、時間内におさまるように記録するよう指導されたから。

45時間以内で報告をするよう指示されているから

教頭先生から校長先生に勤務時間をオーバーすると評価が下がると教えてもらったため

正確に報告すると報告事務作業が増えるだけで、仕事は減らないから

正確に報告したところで何も変わらないから

45 時間を超えると注意を受ける、休日出勤がバレると注意を受ける、という恐怖心があるため誤魔化している。自分で勤務時間を、手書きするということは、そうなると思います。タイムカードがありません。タイムカード技あっても、早めにカードを打って仕事を続ける人もいます。勤務時間の記録をするのは、あまり、意味がないと思います。

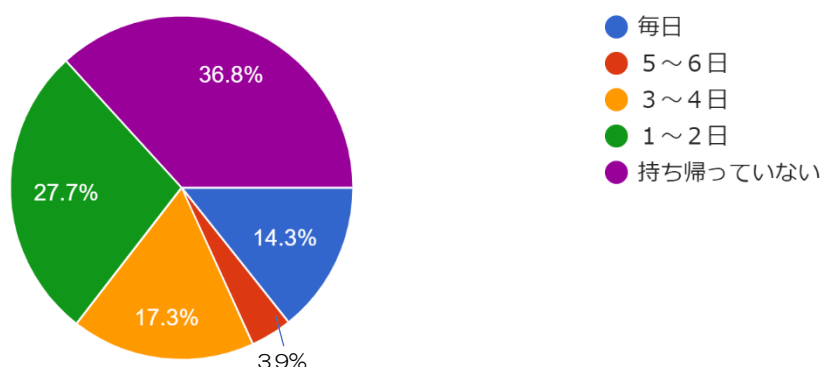
仕事の量が減らないのに、早く帰ったことにしないと、管理職の先生に申し訳ない。

時間外勤務については、家で仕事をしているため報告の必要がない。

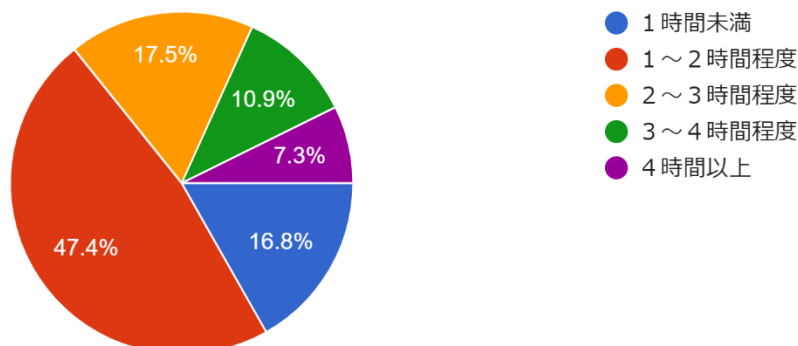
連続して毎月超過勤務をしていることになり、自分の仕事の効率の悪さと感じているから。

夜 7 時以降仕事をする、書類を書かなければいけないので、夜 7 時を超えて働いた超過分を、他の日に移動勤務時間を超えた場合に書類を書くのが負担だから

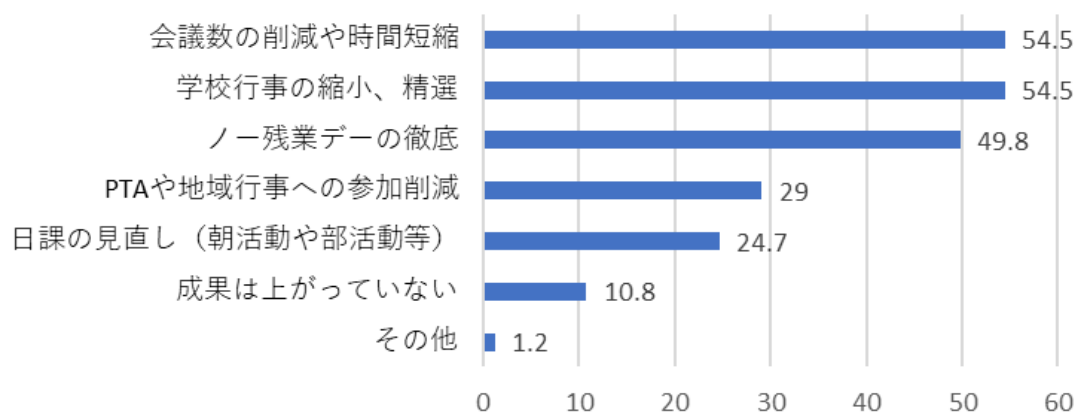
⑧あなたは 1 週間でどの程度持ち帰り業務を行っていますか。



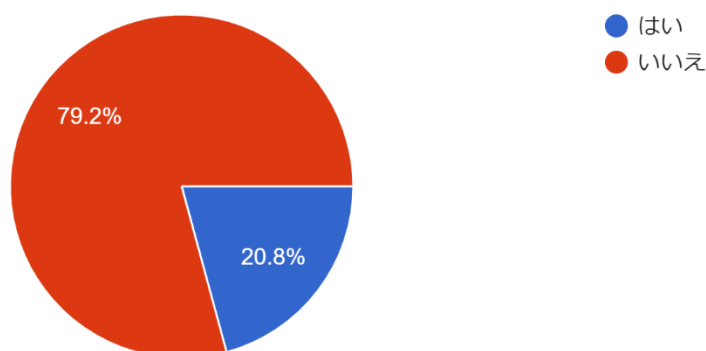
⑨⑧で、「持ち帰っていない」以外を選択した方に質問します。持ち帰り業務は、週何時間程度ですか。



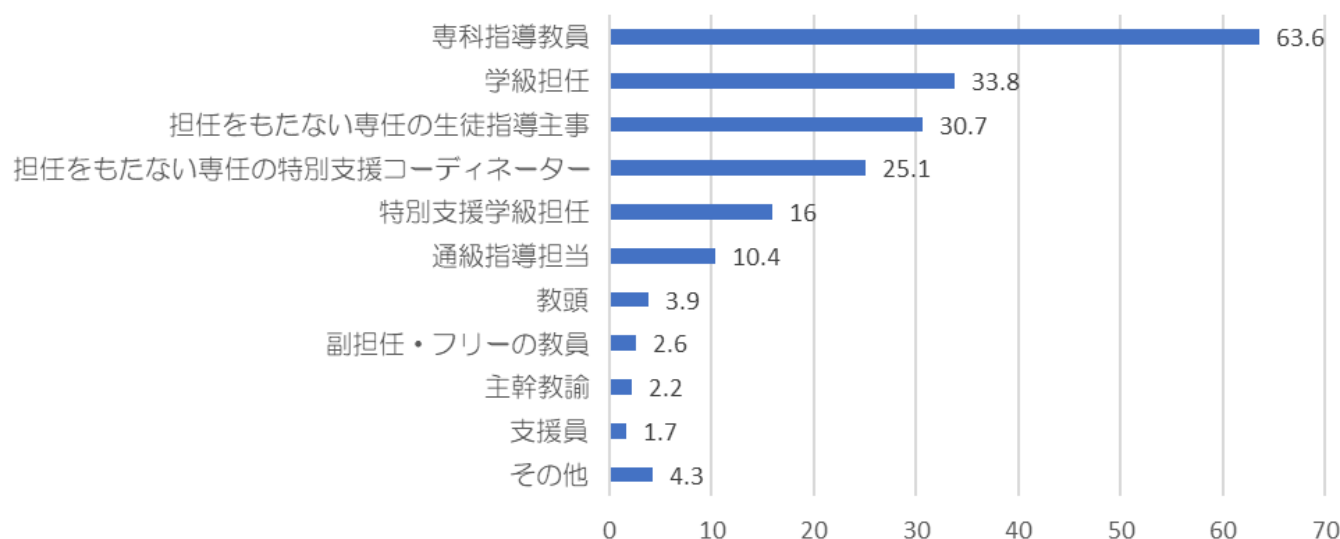
⑩あなたの勤務校やあなた自身の働き方改革の取組について成果が上がっていることはどんなことですか。（複数回答可）



⑪あなたの勤務校では、定数に関係なく学校の実態に応じて相応の人数が配置されていると思いますか。



⑫あなたが勤務校の校長として、配置や拡充の必要性を感じる役割を選んでください。（複数回答可）



⑬この1年間で、人材の確保について困った例があれば、その経過と共に教えてください。

特別支援の支援スタッフがたりない

時短の先生は昼からいない

小規模校なので、ワクチン接種などのため休む人が複数いると、授業を回すのが難しい。

産休育休の補充がない

確保した人材が急に退職したので、担当されていたところは担任が担当することになった。

相談室対応

生徒指導的に支援が必要な児童が多すぎて、指導の補助や補欠に入ってもらえないときがあった。

学年フリーの人数が昨年より減った。そのため進路指導の業務を進めるのに時間がかかる。

コロナ禍で、水泳指導の時、消毒や着替え時の指導等の職員が大幅に必要なになったが、教頭、教務が何時間も配置することになった。

正規の数よりもマイナスのスタートがどの学校でも当たり前の状況になっていること

病休の代わりの人が見つからない。

数だけ見れば足りているが、時短勤務が複数いるので、校務分掌は任せられないし、学年の業務の助けにもならないため、実質は人材が足りていない。

担任の力不足により学級が大変になる→フォロー人は入れるフリーが教務と教頭のみ→教務と教頭が入る→教務と教頭は自分の仕事ができない

フリーが何人もいれば、フォローできるし、担任を変えることもできる。

出張や年休で担任が不在の場合、代わりにその学級に入る教員の確保が難しい。

各学年2クラスで、2つの学年で初任一年目の新卒の教員が担任をしている。初任研もあり、また経験も少ない中、よく頑張っているが2人とも時間外勤務が毎月80時間を優に超えている。オーバーワークで体調を崩さないか心配している。

外国籍児童への学習支援を行う担当がいない。支援員や教頭5人で、国語と算数の取り出し指導を交代しながら行っている。

生徒指導が担任をしていて、理科補充がなくなり、6年生担任の空き時間が無い。

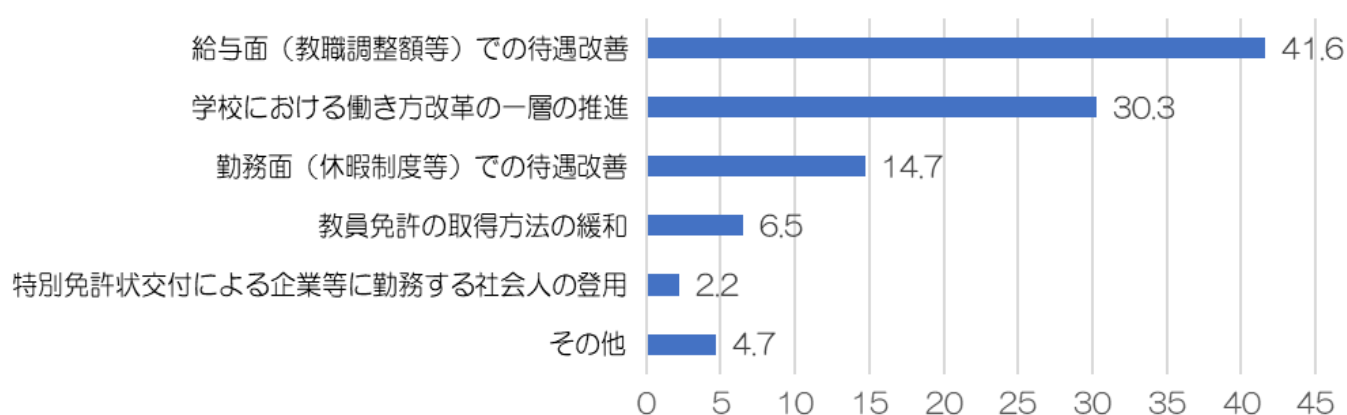
免外で指導している先生がいる。毎年解消されない。

自分の子どもの都合で年休を取りたいが、フリーの職員がいないため、補充を頼めず取りづらい
特別支援教育を専門に勉強していない人が担任を持つことになっていていいのかと思う。

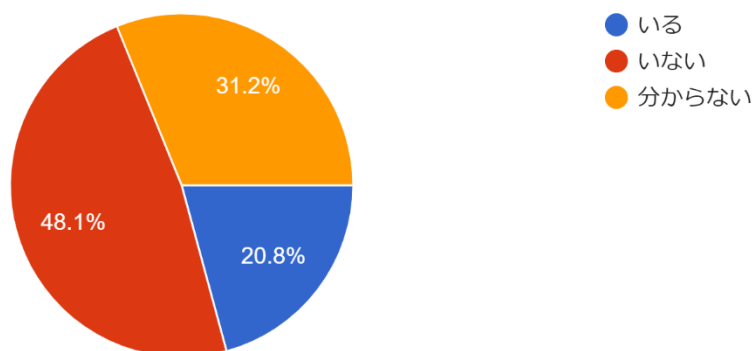
担任が特別支援コーディネーターを行い、業務が大変すぎる。

音楽の講師が確保できなかったため、退職される音楽科の先生に、来年度の講師を頼んだ。

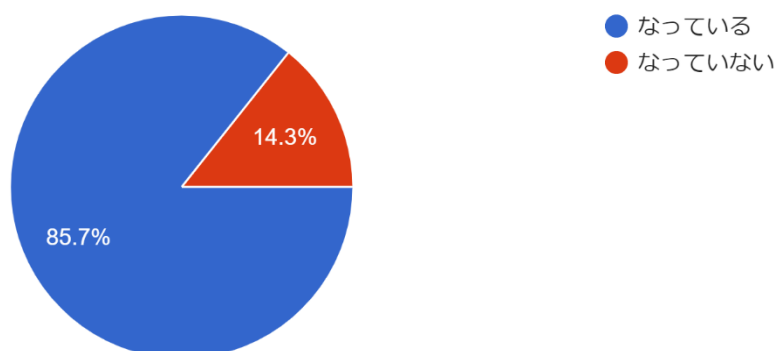
⑭人材の確保のために必要な事項について、あなたの考えに最も近いものを選んでください。



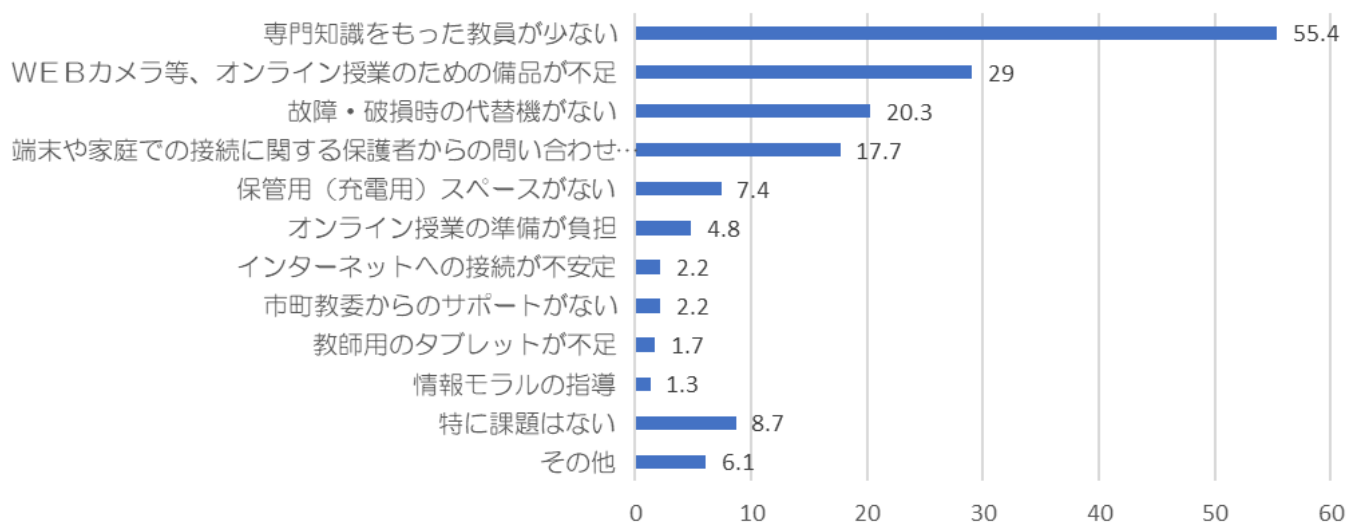
⑮あなたの勤務校で、通級指導教室に入りたくても、定員オーバーや診断がないという理由で入級できない児童生徒はいますか。



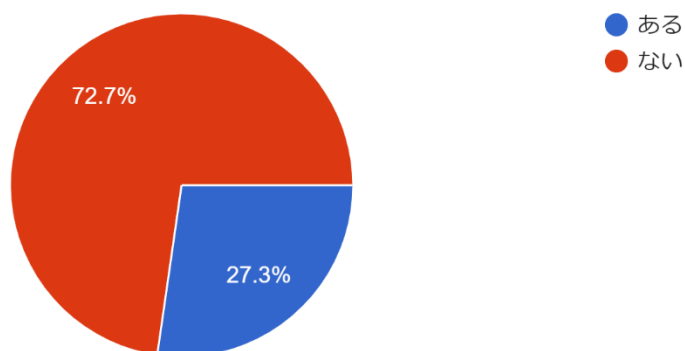
⑯あなたの勤務校では、特別支援教育担当の教員が企画委員会や運営委員会等に参加して学校運営に意見を述べる環境になっていますか。



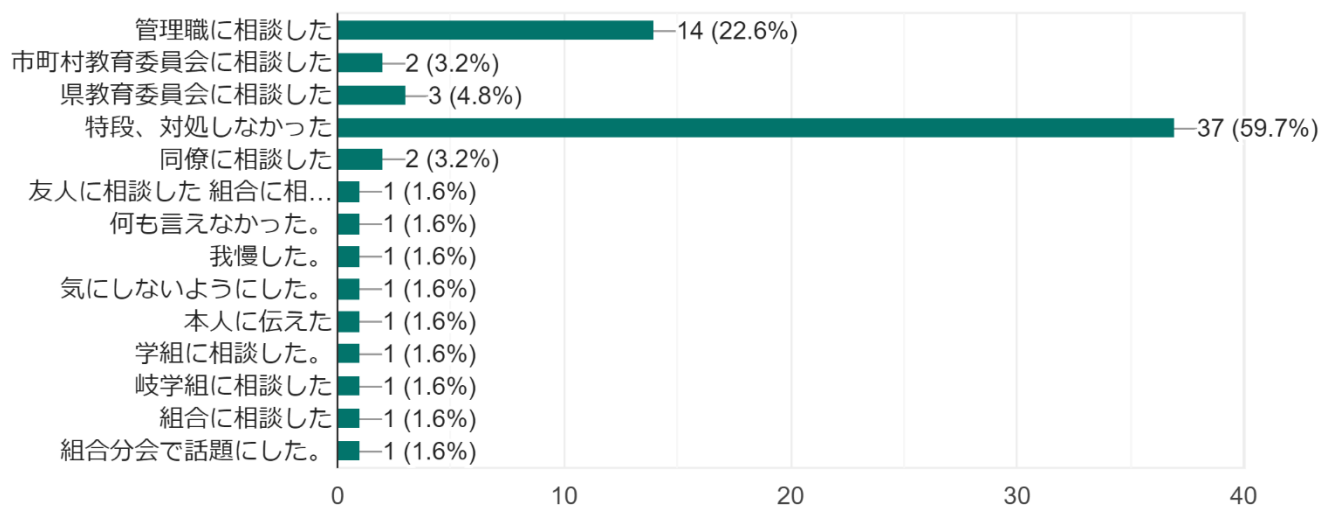
⑰GIGA スクール構想に関連する課題について教えてください。（複数回答可）



⑱あなたはハラスメント（パワハラ、セクハラ、マタハラ等）を受けたことがありますか。



⑲⑱であると答えた方は、どのように対処しましたか。



⑳新型コロナウイルス対応で困った事例があれば教えてください。

コロナにかかった教員の事例が結果的に少ないが、人と関わる事が必須な中、他の業種と同様に給料が下げられる事

下校後に教室内の消毒は本当に必要だとは思えない。

学年集会を開ける場所が体育館しかない

勤務時間前の 7:45 出勤で、検温チェックになっている。

風邪の症状なら休むというのが基準が人それぞれで曖昧で電話連絡されても分かりにくいときがある。

児童・教員間の人間関係の希薄化。

出欠席について、出席停止か欠席かの判断にいつも迷う。

昨年度、修学旅行等の行き先(県内、県外等)、行事の実施など市内の学校で足並みが揃っておらず保護者や児童生徒の不満に繋がってしまった。

止むを得ないが、対策が形ばかり・建前上になっていく感じがある。

マスクをつけられない児童がいる。

出席簿の欠席のうちのわけを、出席停止にするのはいいが、その理由が、疑いなのか予防なのかよくわからないのが、こまった。

検査で人がいなくなったときに、残された人が大変すぎる

昨年度は行事等、多くを見直してとにかく授業時間を確保したが、今年度はいろいろ戻してほしいという動きが保護者にある。これまで学校がサービスしすぎていたと感じる。まだまだ感染の不安からできないことが多いが、要求は多い。

教育委員会の部署ごとに言っていることが違って困ったことがある。それは、換気の仕方。文科省の基準に合わせて、教育委員会の通達通り換気をしていたら、足りない、開けろと言われたこと。

昨年度のように急な変更、計画を何度も変えることはなく、今のところは余裕をもって対応できている。

コロナウイルスに対する意識が先生によって差が出る、学校環境

感染の拡大状況に合わせて行事の仕方を検討しなければならず、修学旅行など、外部の業者が関わるものについては、打ち合わせや保護者への連絡などを何度も行うことになって負担が大きい。

リコーダーの演奏や合唱、体育で接触する競技など、本来やらなければならない学習ができない。

危機感の低下。暑さの為、マスク着用の徹底が難しい。

行事等の方針が、二転三転して生活が落ち着かなかったり、提案が難しい。

何がどこまでできるの判断がはっきりしない。今後さらに大変な状況になると見られるので、市として同一歩調でできるようリーダーシップを発揮するとともに現場の意見も聞いて連携をして欲しい。

家庭により想いが違うため、要望がいろいろあり対応できない。また、学校裁量のところが多いため、何が良いのか難しい。

コロナに結果的にかかっていないだけで、人と密接に接する事を求められるから

市教委が言うことが、実際の現場では実現できないことが多過ぎる。

修学旅行・宿泊研修などの実施判断や保護者への対応について

運動会等地域に人と関わる活動が減って、寂しい

同じ町内でも、学校によって対応が違う。例えば、卒業式に歌を歌う、運動会で保護者が運動場外から見ていた、など、そのことによる保護者からの問い合わせ対応

国や県からの通知の中で、「状況に応じて」、や「実情に応じて」とあったりして、結局は曖昧な部分をそれぞれの学校で解釈して行っているため、学校による差がある。

熱中症予防とコロナ予防の両立は非常に難しい。

行事等の計画や準備をしても、中止や延期で無駄足になることが多い。また、変更計画や改善案を学年に振られることが多く、負担が大きい。児童の学習意欲の維持が難しい。

午前授業で下校させた後、留守家庭教室が開設されるまでの間の時間を、学校の教室を使用して、職員が面倒見るようになったこと。

環境的に三密を避ける事が困難であり、全校児童生徒数が多いほど、感染対策の徹底が難しいと感じる。

夏休み明けの学校運営について、上からの決定・連絡がぎりぎり、対応に圧迫感があった。

同じ地域の中の保育園では、陽性者が出て、休園。小学校は、通常どおり。保護者の方から、不安を訴えられた。

保護者の意識が低いため、家庭での検温の徹底が、不十分になる。